

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

先端科学技術を活用し、医療ニーズの高い疾患領域に対する新薬を創出し、開発化合物を導出することで事業展開を推進する。

導出準備プログラム
1件以上/期

営業黒字達成
3期連続

共同研究契約
1件以上/期

2 中長期の経営戦略

1. 導出・アライアンス戦略

全段階の研究開発ポートフォリオを対象に機動的導出を展開。導出先との協力体制で早期・安定収益を実現。

3. 選択と集中戦略

臨床試験段階の高リスク・高コストに対応。成長ドライバー品目への戦略的投資と外部ファイナンス活用で加速化。

2. ポートフォリオ強化戦略

疼痛・消化管領域から神経疾患・がん領域へ重点領域を再定義。TPD、mRNA標的低分子等の新規モダリティに取り組む。

4. HKイノエン社連携

胃酸分泌抑制剤tegoprazanの日本事業化と共同研究で役割分担による効率化と相乗効果を創出。

3 対処すべき課題

① 研究開発基盤強化

- ・神経疾患・がん領域での新規医薬品候補化合物創製
- ・TPD、mRNA標的低分子、細胞内抗体等の新規モダリティ研究
- ・外部共同研究と研究設備・専門人材の確保

② パイプライン価値向上

- ・導出準備プログラムから每期1件以上のライセンス獲得
- ・適応症拡大と知的財産権強化による自社パイプライン価値向上
- ・導出先企業への技術支援とマイルストーン・ロイヤルティ収入早期化

③ 人的資本確保・育成

- ・高度な専門性を有する多様な人材の採用・育成
- ・従業員エンゲージメント向上と多様な働き方実現
- ・安全衛生・コンプライアンス体制強化による組織基盤維持

面接で使えるポイント

- ・名古屋大学（2014年度）・岐阜薬科大学（2021年度）との産学連携講座設置による最先端研究開発
- ・テムリック株式会社・ファイメクス株式会社の買収を通じた疾患領域拡大への取り組み
- ・HKイノエン社との資本業務提携でtegoprazanの日本事業化と共同研究を推進

証券コード 4579

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

愛知県名古屋市に本社を置く 医薬品業界の創薬ベンチャー企業

主力事業・セグメント

・ 医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 営業利益率110.5%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

4億円

営業利益率

110.5%

財務健康度

58点 /100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 63.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収

756万円

医薬品内 53位/80社

平均年齢

48.1歳

医薬品内 15位/80社

平均勤続

10.1年

医薬品内 38位/80社

女性管理職

13.6%

医薬品内 30位/41社

男性育休

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: ラクオリア創薬(株)【4579】：決算情報

